

● 清明節は、春分の日から15日目(毎年4月4日~5日のころ)にある中国の祝日です。今年は4月5日ですね。清明節の歴史は長く、現在確認できる最も古い記録は、秦の時代になると、全国規模の行事になりました。今では、中国と中華圏の国や地域、例えば、マレーシア、ベトナム、台湾などでも大切な行事です。



中国のお盆

中国人は清明節で何をしますか?

中国の清明節は、日本のお盆とよく似ています。この 祝日は主にお墓参りのためにありますが、「春」を祝 う祝日でもあります。

・す。次に、冥銭を燃やします。中国人は「ものを燃やすと、彼岸にいる家族に届く」と信じているため、紙で作ったお金「冥銭」を燃やす習慣があります。そして、果物とお酒をお供えします。お供え物は、先祖の魂が安息できるようにするためのものです。



お墓参りの他には、外で春や自然を楽しむ行事がいくつかあります。

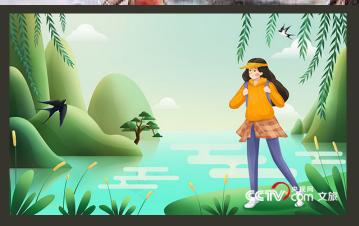
- 踏青:踏青は、「青を踏む」と書いて、「郊外に行き、緑が満ち溢れる場所で遊ぶ」という意味です。
 - 。 日本語の「遠足」と似ていると思います。
 - 。 踏青は、体を鍛えることにも繋がるうえ、都市 に住んでいる子供達にとっては新鮮な空気と外 の景色を見るいい機会です。
 - 。中国の小学校と中学校は、毎年清明節のころ に、学生のために「踏青」を組織して、郊外に 行きます。
 - 踏青では、次のようなことをします。
 - ブランコ:外で春の空気を楽しむことができます。健康を増進し、ブランコは子供にとって、チャレンジにもなるので、子供の精神も鍛えます。
 - 蹴鞠:外で春の空気を楽しむことができます。体も鍛えられます。
 - 凧揚げ:いい運をもたらすこともできると 言われています。

国際交流員が紹介する 「一、二、三、楽しい中国文化!」 中国の四大祝日②



- 柳を挿す:「柳を挿す」は、柳の枝を取って、お家の辺りに挿すことです。扉に挿すのが普通ですが、髪に挿すこともできます。
 - 昔、中国人は「柳は厄払いの力がある」と信じていました。
 - 柳は育ちやすいので、柳を挿すのは「どこでも生きられる」という祝福も含まれています。
 - 木を植える:柳を挿すことから派生した活動です。環境にも良いので、たくさん中国の学校が清明節で木を植えています。









中国のお盆 清明節②

中国人は清明節で何を食べますか?



青団(せいだん)を食べます。日本語では、よもぎ餅や草餅と言われます。 皮はよもぎが入っていますので、緑字はよるで、ます。「青」という漢字、の色をして、緑色」を指しますので、まずで、まずでは、まずではよもぎではいて、中身は餡子や卵の黄身です。作るのはちょっと複雑な手順だけど、とても美味しいです。

国際交流員が紹介する 「一、二、三、楽しい中国文化!」 中国の四大祝日②